

春まきたまねぎ栽培における好適品種と定植時期

【1 成果の内容】

- (1) 岩手県では、春まきたまねぎの栽培面積が拡大しています。大規模栽培を成立させるため、本県の春まき栽培で利用されている「もみじ3号」に加えて、岩手県に適する品種とその定植時期を明らかにしました。
- (2) 岩手県の春まきたまねぎ栽培に適する品種と栽培地域別好適品種は下図のとおりです(図1)。

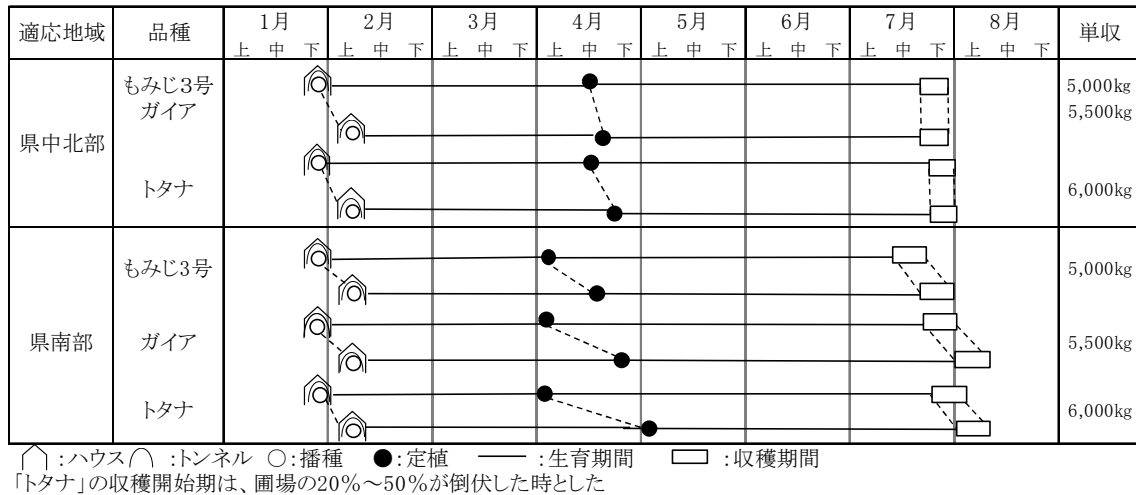


図1 栽培地域別好適品種の作型

- (3) 県南部での定植時期
 ア 「もみじ3号」は4月上旬~4月中旬です。
 イ 「ガイア」は4月上旬~4月下旬です。
 ウ 「トタナ」は4月上旬~5月上旬です。
- (4) 「もみじ3号」、「トタナ」は、収穫当年の10月まで、「ガイア」は収穫翌年の1月まで貯蔵中の発根等が認められず、生食用として出荷が可能と判断できます(図2)。

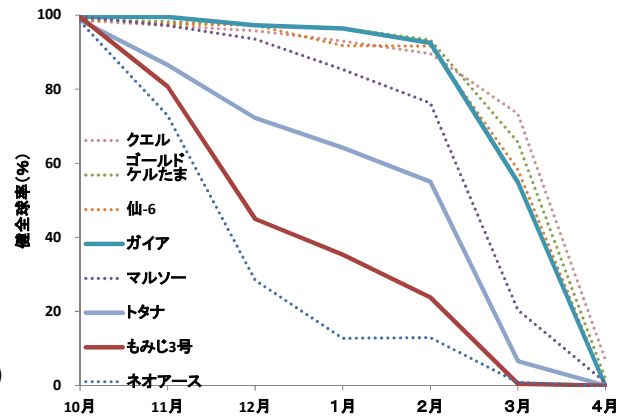


図2 貯蔵調査の結果 (2017~2018年 県北農業研究所)

【2 留意事項】

- (1) 「トタナ」は裂皮球や腐敗球の発生が多いため、これらの低減対策として 20%~50%倒伏時期(倒伏開始3~7日後程度)の収穫が有効です。詳細につきましては、「令和元年度試験研究成果」をご覧ください。
- (2) 「トタナ」は高温乾燥年には、倒伏・収穫が早まる傾向があります。
- (3) 春まきたまねぎの栽培方法全般につきましては「春まきタマネギ栽培マニュアル」をご覧ください。
- (4) 詳細につきましては、「令和元年度試験研究成果」をご覧ください。

※ 本成果は農研機構生研支援センター革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)「寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証」による成果です。